



# College report

vol.10  
2013.10

## 東京聖栄大学報



7号館竣工 〈関連記事 2ページ〉

### ● C O N T E N T S ●

学長挨拶／7号館竣工／福澤先生名誉教授に……………	2	学友会／後援会・聖栄会／公開講座……………	10・11
College photography……………	3	平成24年度決算報告……………	12・13・14
卒業式・入学式／研究／人事異動……………	4・5	教育研究施設設備拡充資金……………	14
管理栄養学科・食品学科の活動……………	6・7	大学附属わたなべ幼稚園／大学附属調理師専門学校／学生募集要項…	15
学生支援センターの活動……………	8・9	大学トピックス／ Student's view……………	16

## 学長挨拶



学長  
松本 信二

本学は4年制大学として開学してから8年が経過し、地道に充実度を上げていることは大変喜ばしいことです。これは学生、教職員の努力はもとより、卒業生の社会における活躍、さらには保護者の方々のご協力の賜物と感謝の意を表する次第です。

さて、新入生を迎え前期が終了しようとしております。いつも気に掛かることですが、健康、栄養、食品に関する専門知識を学ぶために本学を志望し、希望を持って入学してきた学生が、この間どの程度の満足感を得ることが出来たかということです。新入生にとって初めの1年間は基礎科目と教養科目を中心とするカリキュラムが配されています。これが高校時代の延長のように受け止められ、ややもすると勉強に興味を失うことになりがちです。

しかし、専門科目を理解するためには基礎科目を身につけておくことが不可欠であり、人間性の優れた立派な社会人として巣立っていくためには教養科目を学ぶことも欠かすことができません。そのことを踏まえ基礎力をしっかりと身に付けるためには今が最も大切な時であることを理解してほしいと思います。基礎の大切なことはどんな世界にも共通することです。

いまわが国では大学の質が盛んに問われています。このことは、それぞれの大学がその目的に合った教育を施し、実力を身につけ探究心を備えた学生を育て、社会に送り出すことが求められているということでしょう。

本学は小規模大学の利点を生かし、一人ひとりの学生をきめ細かく指導し、実力のある学生を育てるよう取り組んでおります。そのための環境造りにも努力を続けて参ります。関係各位には今後とも一層のご支援ご鞭撻をお願い致します。

## 7号館竣工

本学の中長期事業計画の一環として、平成24年11月に着工した7号館が25年8月30日無事完成し、9月5日竣工式・竣工披露が執り行われた。新築された7号館は、わたなべ記念体育館・6号館に隣接した、旧テニス・コート跡地に建てられ、鉄骨造、地上3階建(一部2階建)、延床面積 1,538.26m<sup>2</sup>となっている。この建物は、6号館と連携して主として食品学科の教育研究に供せられる。4号館の改修計画に伴い、現在4号館にある食品学科の実験室・実習室、教員研究室や、講義室などを新館に移設するとともに、1階正面エントランス脇に広々とした談話室を配置するなど、教育環境設備にも配慮されている。

7号館には、製菓実習室、微生物実験室、官能検査室、教員研究室、助手室、更衣室、講師控室、講義室2室、談話室などが配置されている。



竣工式



外観



官能検査室

## 福澤先生に本学名誉教授の称号授与

6月20日(木)教授会開催に先立ち、名誉教授授与式が行われ、福澤 美喜男前学長に本学名誉教授称号記が贈られた。これは、先生が本学前身の栄養専門学校教員を経て短期大学教授、学長を歴任され、教育、研究に多年に亘りあたられ、さらに本学開学後も引き続き学長として大学運営に尽くされた功績は顕著であるとして、教授会の推薦を経て理事会で決定されたもので、当日は多数の教授が出席し、松本学長から感謝の言葉とともに称号記が手渡された。



# College photography



管理栄養士業界・企業説明会  
(H24.11.28)



インターンシップ成果報告会  
(H24.12.1)



福島県塙町関係者来校(復興支援)  
(H24.12.8)



葛飾区社会福祉協議会へ寄付  
(H25.2.19)



あぐり花植え (H25.3.15)



卒業パーティー (H25.3.20)



部・同好会説明会 (H25.4.12)



新入生歓迎会特別講演 (H25.4.19)



食品関係企業説明会 (H25.6.25)

# 卒業式・入学式

## 平成24年度 卒業式

平成24年度卒業式が、去る平成25年3月20日(水)わたなべ記念館において行われた。

曇天模様の中、新しい門出を迎えたのは、管理栄養学科71名、食品学科46名の117名であった。

式は学位授与で始まり、表彰は学長賞(最優秀賞)の受賞1名、優秀賞は7名が受賞した。他に全国栄養士養成施設協会会長賞、日本フードスペシャリスト協会会長賞、食品科学教育協議会会長賞の受賞も行われた。

続いて学長式辞では、福澤美喜男学長より饒の言葉として「信用は無形の財産である。」の言葉が贈られ、「どんな職場に配属されても、積極的に努力をし、経験を積み重ね、周りの人達からの信頼が高まれば、あなた方にとって大きな財産になる。あなた方は、この四



年間同じ釜の飯を食べた仲間であり、進む道は違っても一生付き合える仲間である。与えられた場所で大輪の花を咲かせ、やがて立派な社会人に成長した皆さんと再会することができることを楽しみに、あなた方を送り出したい。」と述べられた。

その後ご来賓の祝辞をいただき、在学生代表の送辞、卒業生代表の答辞と続き、最後に本学吹奏楽同好会の演奏で、校歌と蛍の光を斉唱して式は終了した。

# 研究

## 平成25年度 特別研究・共同研究

本学教育研究費取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしている。本年度の特別研究・共同研究計画申請について、以下の表の通り採用決定した。

代表申請者	研究別	研究経費(円)	研究課題
加澤 恒雄	共同	200,000	本学の学生の英語力強化方策と学習の動機づけに関する研究-ESP教材の開発に向けて-
鈴木 和枝	共同	150,000	わが国における糖尿病診療と教育活動の実態(第5報)-2012年度全国アンケート調査より
橋場 浩子	特別	140,000	食材中の食塩の二元拡散
前田 宜昭	特別	400,000	米糠、そば糠及び脱脂エゴマ粉末が生体の生理的調節機能に及ぼす影響について
前田 宜昭 (FD関連)	共同	400,000	東京聖栄大学におけるFD活動の推進-学生による授業アンケートを活かした授業改革を中心にして-
渡邊 悟	特別	200,000	コーヒー抽滓を用いて生育したキノコの機能性成分について
荒木 裕子	共同	250,000	ダリア塊根の研究-安全性の確認について
岡本 直也	特別	200,000	多変量標本積率を用いた正規性検定統計量について
岡本 直也 (共通教育)	共同	500,000	東京聖栄大学における初年次教育プログラムの開発と検証-リテラシー教育・導入教育・リメディアル教育を中心にして
新村真由美	共同	230,000	食育サポーター事業in葛飾区
橋場 直彦	共同	230,000	青年期女子における肥満の危険因子に関する検討-特に運動習慣、食習慣および生活習慣病の家族歴を中心に-(第5報)
大塚 静子	共同	450,000	ラットにおける飼育中のCa/P比ならびに脂肪量の違いが腎石灰化に及ぼす影響(2)
片山 佳子	特別	270,000	味噌の機能性について
鈴木 等	特別	230,000	生活習慣病の治療薬としての核酸創薬の可能性について調べる
矢島 克彦	特別	250,000	栄養素代謝と睡眠時間時脳波との関連に関する研究
星野 浩子	共同	300,000	食品調理加工中のメイラード反応生成物の比較およびその関連物質の分離・定量
山本 直子	共同	700,000	塩麹に関する研究-塩麹の微生物学的、化学的研究、及び畜肉のおいしさと物性の関係-
吉田真知子	特別	220,000	SGEによる体験学習者が管理栄養士として必要とされるコミュニケーション能力の向上に与える影響(継続研究)
佐川 敦子	共同	297,000	給食経営管理実習における学生の態度・行動への意識介入-自己評価・心理尺度の分析-

## 科学研究費助成事業(科研費)

これまで科研費については、補助金分は、研究期間が複数年にわたっていても「年度毎に、当該年度分の研究費についてのみ交付内定・交付決定」を行っていたが、新たな基金分は、「初年度に、複数年にわたる研究期間全体の研究費について交付内定・交付決定」を行うことになった。

このため、基金分は、

- ①研究の進捗に合わせた研究費の前倒し使用
- ②事前の繰越手続を要しない、次年度における研究費の使用
- ③年度をまたぐ物品調達

などが可能になり、以前に比べ格段に利用しやすくなりました。

本学では、平成23年度に、橋場浩子教授の研究【基盤研究(C):科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)】が採択され、今回、(独)日本学術振興会に提出された24年度の実施状況報告書によると、第22回国際家政学会(メルボルン)での研究発表、またJournal of Food Researchへの掲載等について報告がなされ、順調な研究が遂行されている旨の報告がなされた。

## 平成25年度 入学式

4月1日（月）東京聖栄大学わたなべ記念館で、平成25年度入学式が挙行された。

午前10時30分より開式となり、健康栄養学部管理栄養学科88名、食品学科92名、合計180名の新入生を迎えた。

松本信二学長は式辞で、本学の沿革と、校訓について触れた後、本学の教育目標は食を通して広く国民の健康維持に資する人材の育成であると述べ、それぞれの学科の特色について、管理栄養学科では食の持つ機能を通して健康の維持・増進、疾病の予防や治療を図る知識・技術を学び、栄養指導分野の指導者として貢献できる人材の育成を目指し、食品学科では食の保蔵・加工に関わる知識・技術を学ぶことにより、栄養性・嗜好性に富み、かつ安全な食品を供給



するための人材の教育をしている。大学はただ勉強するだけではなく、クラスの友人、クラブ活動やイベント、先輩後輩との交流により、コミュニケーション能力と幅広い人間性を身に付け、有意義な四年間を過ごしてくださいと述べられた。

この後、新入生代表八渡恒太さんが新入生宣誓を行い、来賓祝辞、祝電披露に続いて、最後に吹奏楽同好会の伴奏により校歌を斉唱し、式は厳粛なうちに無事終了した。

## 人事異動

（順不同 敬称略）

臨時号でお知らせしたように、福澤美喜男学長が学長職を退任、4月1日付松本信二教授が新学長として就任されました。

〈教員〉

補職 平成25年4月1日付

健康栄養学部長 教授 阿左美章治  
図書館長 教授 岡田 弘（再任）  
管理栄養学科長 教授 田所 忠弘  
食品学科長 教授 丸井 正樹（再任）

昇任 平成25年4月1日付

教授 高橋 祥子  
渡辺 順子  
講師 大塚 静子  
佐川 敦子  
鈴木 等

非常勤講師（新規委嘱） 平成25年4月1日付

孫 慧如（そん けいじょ）  
担当教科「中国語Ⅲ・Ⅳ」  
中西 載慶（なかにし ことよし）  
担当教科「食と環境」  
韓 順子（はん すんじゃ）  
担当教科「給食経営管理論」  
伏脇 裕一（ふしわき ゆういち）  
担当教科「食と環境」  
山田 誠一（やまだ せいいち）  
担当教科「応用調理実習」  
山本 伸二（やまもと しんじ）  
担当教科「文学」

採用 平成25年4月1日付

臨時助手

海老澤 隆史

退職 平成25年3月31日付

教授 長須 正明

〈職員〉

採用 平成25年4月1日付

総務課 沢井 健  
学生支援センター学生支援・就職支援課  
中村 太一（平成25年9月1日付）

配置換 平成25年6月1日付

附属幼稚園事務長 鈴木 和男（財務課長代理）

昇任 平成25年6月1日付

財務課長代理 松浦 健治

昇任 平成25年7月1日付

事務局長兼大学事務部長  
高橋 成彰（事務局長次長・大学事務部長）  
事務局次長兼総務部長  
赤堀五百重（総務課長）

企画調整室長

丸山 信一（企画調整室次長）

大学事務部次長兼入試・広報課長

多田 功（入試・広報課長）

入試・広報課係長兼学生支援・就職支援課係長

岡田 修一

入試・広報課係長 高山 隆弘

秘書室係長 梅村 光代

施設管理課主任 會田 進

学務課主任 金丸 亜樹

兼務

総務部総務課長兼学生支援・就職支援課長

金子 俊也（学生支援・就職支援課長）

退職 平成25年6月30日付

事務局長 岡本 昭次

# 管理栄養学科の活動

2012-2013



大変お世話になりました：5期生



桜並木を入学式場へ：9期生

## 新入生宿泊研修 4月4-5日 (白子海岸：千葉)



▲先輩のアドバイスに真剣な眼差し



◀現地の本学OGによる食育イベントのデモ①

▼食育イベントのデモ②



おいしいご飯は楽しいね▶



## 臨地実習報告会

6月29日 <病院・福祉>



▲4年次生が現場で体験し学んだことのプレゼン



◀上級生のプレゼンを熱心に聴く3年次生

▶同級生からの学び



# 食品学科の活動

2012-2013

## 新入生宿泊研修〈栃木県日光市〉(平成25年度新入生)

新入生92名を迎えて研修 (H25.4.4-5)



豆腐作り体験



学科ガイダンス



日光東照宮にて

## 東京中央卸売市場見学研修〈東京都 築地・大田〉(平成25年度新入生)

1年次の市場見学研修 (H25.9.2-3)



大田市場



アサヒグループ本社ビル前にて

## 食事情海外視察研修〈平成24年度 フランス〉



星付きレストランで会食



市内市場見学



名所めぐり

# 学生支援センターの活動

## 学生支援・就職支援

学生支援センターでは、入学時のガイダンスから学生相談、課外活動、奨学金などの経済的支援相談等の学生支援、キャリア・就職支援ガイダンスの実施、就職相談、求人への斡旋等の就職支援、学生を通じた地元

団体との地域共創事業等の幅広い活動を行っている。また、大学への要望の窓口になり、教授会等で検討し、学生の意見を反映するよう努めている。学生支援センターでは、多くの学生の利用を期待している。

### 防災訓練

10月11日（木）に防災訓練を実施した。本学から避難場所への経路確認のみでなく、放水体験や救護訓練など学生・教職員が体験する訓練内容であった。本学では、今後も継続して防災訓練を実施し、防災意識と安全の向上を図っていく。



### キャリアデザイン講座

11月28日（水）、食品学科2年次生を主対象にキャリアデザイン講座を実施した。就職活動のために今後取り組むことなどを考える良い機会となった。



### 食育イベント

#### 〔社〕全国栄養士養成施設協会後援事業

「私の身体・食生活はこのままでOK?!」（実施責任者：阿左美教授）と題した身体計測・食生活診断を『聖栄葛飾祭』において〔社〕全国栄養士養成施設協会後援で実施した。



### 奨学金授与式

6月7日（金）、学業成績優秀奨学生12名（2年次生6名、3年次生6名）が選ばれ、松本学長より奨学金が授与された。



### 業界・企業説明会

2月12日（火）～15日（金）の4日間に亘り、3年次生を主対象として、学内業界・企業説明会を開催した。延べ30社の人事担当者が来校され、大規模な説明会となった。今年も、説明会参加企業より多数内定を頂いている。



#### 〔社〕日本フードスペシャリスト協会共催事業

「がんばれ東北 各県の特産品を使った加工食品・料理メニュー展」（実施責任者：筒井教授）を〔社〕日本フードスペシャリスト協会共催事業として実施し、「東京都食育フェア」、『聖栄葛飾祭』で出展した。

### マナー講座

本学が実施している『マナー向上運動』の一環として、7月1日（月）に新入生を対象にマナー講座を開催した。実技を含めた講座内容で、参加した学生は楽しみながら積極的に受講していた。



### キャリアリサーチ

食品学科2・3年次生を対象にキャリアリサーチ（全6回）を実施した。座学のみではなくワークを中心とした内容で、受講した学生は真剣に取り組んでいた。



### 地域共創

#### 「春の全国交通安全運動」出動式

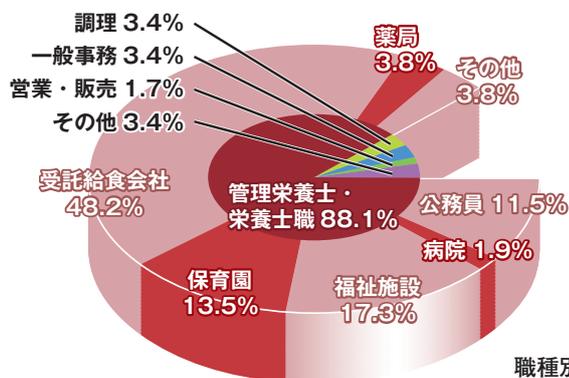
4月6日（土）、葛飾警察署にて行われた「春の全国交通安全運動」出動式に地元大学として参加協力した。



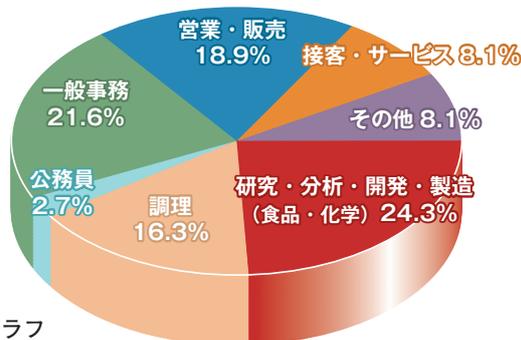
## キャリア・就職データ

### 5期生（平成25年3月卒業生）の就職状況（就職率97.0%）

#### ●管理栄養学科（就職率98.3%）



#### ●食品学科（就職率94.9%）



職種別就職先グラフ

### 平成25年3月卒業生就職結果

5期生（平成25年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、前年度より改善し学部合計で97.0%であった。文部科学省集計の全国の大学卒業生の就職率93.9%を上回った。学科別には、管理栄養学科が98.3%と本学開学以来最高の数字となり、食品学科は昨年最終数字を11.6ポイント上回り前年度比で大きく改善した。公務員の就職者は大学での個別指導を強化し、東京都栄養職員5名を含め合計7名と過去最高となった。

平成24年度の就職支援では、就職対策委員会と学生支援センターにて就職支援再構築の施策を順次実施し始めた。食品関連優良企業への求人依頼などにより食品学科学生への求人が増加し、食品衛生管理者としても就職した。

進路・就職結果

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者	59	37	96
就職未内定者	1	2	3
<就職希望者>	<60>	<39>	<99>
進学者	3	0	3
その他	8	8	16
卒業生	71	47	118

### 平成26年3月卒業生就職内定状況

今年度の新卒者就職内定状況は、(株)リクルートキャリア等の就職情報会社によると、昨年同日比で大幅に改善された数字が発表されている。

本学の4年次生の就職内定状況（8月31日現在）は、40.8%と昨年度比プラス7.8ポイントと大幅に上昇した。

学科別では、管理栄養学科が48.2%で昨年度比プラス11.1ポイント、食品学科が27.7%でプラス10ポイントとなっており、管理栄養学科の就職内定率が大幅に改善された。これは、平成24年度から順次実施している就職支援再構築の効果のみならず、学生自身の頑張りにもよるものである。

例年、就職活動戦線の後半戦となった9月以降に内定を勝ち取る者も多数おり、未内定者の今後の健闘を期待している。また、本学では学生の希望進路実現に向けて全力で就職支援を継続する。

関係者の皆様のご協力をお願い致します。

### 主な就職・進学先

#### <管理栄養士・栄養士職>

(公務員) 東京都栄養士、千葉県栄養士

(病院) オーククリニックフォーミズ病院

(福祉施設) (社福) 梅田福祉会 特養梅の郷、(社福) 葛飾会 かつしか苑、(社福) さくらぎ会 特養こもれびの郷、(社福) 草加福祉会 特養フェリス、(社福) 双樹会 特養リバーサイド

(保育園) (社福) 久留米のみり保育園、(社福) 清遊の家 葛飾区たつみ保育園、(社福) 大洋社 洗足池保育園、(社福) 七施 育正保育園、(社福) ひかり学園

(給食会社) エームサービス(株)、(株)グリーンハウス、(株)ニッコトラスト、日本給食サービス(株)、富士産業(株)、(株)メフォス、(株)LEOC

(薬局) (株)セイジョー、(株)ツルハ

<研究・分析・開発・製造（食品・化学）> 伊藤製パン(株)、(株)ニッセーデリカ、(株)富士商事、フジパン(株)、(株)ミリオンエンタプライズ、(株)マザキデリカ

<調理> (株)今半、和幸フーズ(株)

<営業・販売> (株)柿安本店、カネ美食品(株)、三州製菓(株)

<接客サービス> (株)々々苑

<公務員> 船橋市（上級一般行政）

<進学> 千葉大学大学院、東京家政大学大学院、聖徳大学大学院

キャリア・就職情報の詳細は本学ホームページ <http://www.tsc-05.ac.jp/> をご覧ください。

# 学友会活動

## 会長挨拶



学友会会長 管理栄養学科3年  
田中 祐次

今年度、新しく学友会会長に就任しました管理栄養学科3年の田中祐次です。

今年も例年通り無事体育祭を終了することができました。これは皆様のご協力の賜物だと思います。有難うございました。

## 学友会総会・新入生歓迎会

4月12日(金)、学友会総会が開催され、新役員の選出、24年度決算報告及び25年度予算案、25年度活動計画等が承認され、田中祐次会長による新体制が発足した。

4月19日(金)には、新入生歓迎会が開催され、『食と医療とエネルギー代謝学』と題した東京医科歯科大学名誉教授の原論吉氏による特別講演、抽選会が行われた。



## 体育祭

5月24日(金)、船橋グラウンドにて体育祭が開催された。1FBクラスが総合優勝を勝ち取り、学長賞が授与された。また、聖栄会より優勝クラスと出席率100%のクラスに賞金が授与された。当日は晴天に恵まれ、全プログラムが滞りなく終了し、親交を深めた一日となった。



学友会は皆様のご支援があつての学友会です。皆様とともに成長を続けていきますので、引き続きご支援・ご協力の程よろしく申し上げます。

秋には、『聖栄葛飾祭』が行われます。各部・同好会やクラスは様々な企画を考えていると思いますが、食を学ぶ大学ならではのユニークな企画を楽しみにしていますのでよろしく申し上げます。

よりよい大学を皆様とともに作り上げていけるよう学友会一同頑張りますのでよろしく申し上げます!

## 聖栄葛飾祭

11月9日(土)、10日(日)の両日に『聖栄葛飾祭』が開催される。今年の『聖栄葛飾祭』では例年と同様に葛飾区の後援や地元自治会の協力等を得て、地元密着の大学祭として開催される。

今年のテーマは「彩食健美」に決定した。多くの方のご来場をお待ちしております。



## 平成25年度 部・同好会一覧

部 名	学 生	代 表
食品加工研究部	食品学科 3年	村上 貴 優
食品化学研究部	管理栄養学科 3年	池谷 佳一郎
調理実習部	管理栄養学科 3年	松元 沙 織
硬式テニス部	食品学科 3年	澤田 丈 司
合気道部	管理栄養学科 3年	小川 詩 穂
バレーボール部	食品学科 3年	岩崎 麻奈美
バスケットボール部	食品学科 2年	板坂 智 夢

同好会名	学 生	代 表
ダンス同好会	管理栄養学科 3年	前田 恵
バドミントン同好会	食品学科 2年	角田 昂 大
軽音楽同好会	管理栄養学科 2年	内田 貴 之
あぐり	食品学科 2年	田中 梓
ソフトテニス同好会	管理栄養学科 4年	佐藤 仁
フットサル同好会	食品学科 3年	根岸 侑 人
野球同好会	食品学科 2年	坂本 侑 大
聖栄ピアヘルピングワークス	管理栄養学科 3年	上原 恵 美
パン同好会	食品学科 2年	光永 宏 美
吹奏楽同好会	管理栄養学科 3年	中野 晴 加
サッカー同好会	食品学科 3年	清水 恒 己
伝統洋菓子研究同好会	管理栄養学科 2年	大森 路 子
ボランティアの会	食品学科 3年	岸田 仁 美

# 後援会・聖栄会の活動



後援会会長  
土屋 和夫

4月に新入生を迎え平成25年度がスタートいたしました。東京聖栄大学も開学から9年目を迎え「健康・栄養・食品」に係わるエキスパートとして、卒業生の活躍を心よりお祈り申し上げます。今後も更なる学生への支援及び大学の発展向上のための活動をしてまいります。

後援会活動も、諸先輩の築いた伝統を守りつつ、教職員と学生や保護者をつなぐパイプ役として、また学生生活が楽しく有意義に過ごせるための環境整備に努めてまいります。

具体的には、大学の教職員の皆様との懇親会の開催や、学友会活動の補助、就職・社会活動への協力、後援会会報の発行等、皆様と連携をとり後援会活動を盛り上げていきたいと思っております。



聖栄会会長  
高橋 興亜

聖栄会総会が、6月2日(日)東京聖栄大学別館4階において開催され、議事一切が可決承認されました。また、役員改選の年であり、永年本会にご尽力いただきました荻野薫子会長が勇退され、私が会長をお引き受けすることになりました。微力ではございますが、新役員と力を合わせ職務を全うする所存ですので、諸先生、会員皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度は、特に各分野で活躍されております、会員皆様のお力添えをいただき、少しでも大学、会員、在校生に貢献できるような、活力ある、そして魅力ある会運営に取り組んで参りたいと思っております。

聖栄会に対しまして変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 後援会の主な活動

### 平成25年度

- 保護者懇親会開催（9月28日(土)）  
保護者と教職員の情報交換会
- 後援会報の発行（年2回発行予定）  
（9月25日付）  
（3月20日付）
- 会議の開催
 

定期総会	4月1日(月)
役員会	6月1日(土)
	3月下旬
役員四役会	2月下旬

## 聖栄会の主な活動

### 平成25年度

- 4月 聖栄会便りの発刊
- 5月 体育祭に後援参加 聖栄会より各賞の贈呈
- 6月 定期総会並びに懇親会の開催
- 10月 第24回食文化研究会の開催  
那須「アワーズダイニング」での研修
- 11月 聖栄葛飾祭への参加  
学友会主催の餅つきへの後援  
お茶席の開催
- 3月 第6期卒業生に卒業記念品の贈呈  
(役員会の開催)  
全体役員会は年2回開催(10月、1月)  
その他役員会は随時開催

# 平成25年度 公開講座

平成25年度公開講座は、6月に准教授・荒木裕子先生のキッチンハーブ講座「ハーブティーの楽しみ方とハーブ料理を学びましょう」、8月に教授・橋場浩子先生の健康栄養講座「五感による食べ物のおいしさ」を実施しました。キッチンハーブ講座では、ハーブティーや家庭で簡単にできるハーブサラダ等の実習を行いました。健康栄養講座では、ミラクルフルーツで味覚の不思議を体感し、食べ物のおいしさについて考察しました。どちらの講座も多数の応募をいただき、盛況裏に終わりました。キッチンハーブ



講座については5倍を超える応募により9月に追加講座を実施しました。

なお、両講座とも、葛飾区で開設している「かつしか区民大学」の指定対象講座となっています。

12月には、大学附属調理師専門学校で調理実習講座「変わり寿司と四方巻き」を予定しています。



# 平成24年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

平成24年度の財務状況は、財政計画に基づき収入の増加、支出抑制の予算編成を行い、帰属収入は学生納付金、手数料、資産運用、雑収入などが増収になったことにより、前年度比1億800万円増の13億9400万円になった。支出については、人件費について複数の永年勤続者の退職が重なり、多額の支出になったことにより前年度比1億500万円増の7億9600万円となったが、教育研究経費、管理経費等予算を下回ったことなどにより、消費支出の総額は13億6700万円になった。この結果、帰属収支差額は2700万円の収入超過となり、帰属収支差額比率は前年度に引き続きプラスを維持しプラス2.0%となった。

## 1. 資金収支計算書

平成24年度資金収支の決算規模は、45億6800万円となり、前年度比8億8900万円の増となった。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は、27億3500万円であり、これに対して当年度支出額は29億7200万円となった。この結果、次年度繰越支払資金は15億9600万円になり、前年度比2億3700万円減になった。

資金収支計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) (単位 千円)

	収入の部			
	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金収入	1,039,075	1,048,125	△ 9,050
	手数料収入	24,195	31,033	△ 6,838
	寄付金収入	6,250	7,945	△ 1,695
	補助金収入	171,929	171,929	0
	国庫補助金収入	125,173	125,173	0
	地方公共団体補助金収入	46,756	46,756	0
	資産運用収入	22,590	27,484	△ 4,894
	資産売却収入	400,100	400,229	△ 129
	事業収入	8,500	10,633	△ 2,133
	雑収入	91,920	94,875	△ 2,955
	前受金収入	532,268	503,763	28,505
	その他の収入	888,893	992,809	△ 103,916
	資金収入調整勘定	△ 549,633	△ 553,820	4,187
	前年度繰越支払資金	1,833,479	1,833,479	
	収入の部合計	4,469,566	4,568,484	△ 98,918
	支出の部			
	科目	予算	決算	差異
	人件費支出	766,956	794,572	△ 27,616
	教育研究経費支出	250,982	247,677	3,305
	管理経費支出	97,451	93,510	3,941
	借入金等利息支出	2,859	2,859	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	355,000	349,969	5,031
	設備関係支出	65,561	63,403	2,158
	資産運用支出	1,404,790	1,407,782	△ 2,992
	その他の支出	23,037	21,495	1,542
	〔予備費〕	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△ 19,850	△ 21,250	1,400
	次年度繰越支払資金	1,500,560	1,596,247	△ 95,687
	支出の部合計	4,469,566	4,568,484	△ 98,918

## 2. 消費収支計算書

帰属収入は13億9400万円であり、前年度比1億800万円増となった。当期基本金組入額が0であったので消費収入合計額は、13億9400万円となった。これに対して、消費支出の合計額は13億6700万円であったので、当年度の消費収支計算における消費収支差額（消費収入－消費支出）は2700万円の収入超過となった。

消費収支計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) (単位 千円)

	消費収入の部			
	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	1,039,075	1,048,125	△ 9,050
	手数料	24,195	31,033	△ 6,838
	寄付金	8,774	10,638	△ 1,864
	補助金	171,929	171,929	0
	国庫補助金	125,173	125,173	0
	地方公共団体補助金	46,756	46,756	0
	資産運用収入	22,590	26,977	△ 4,387
	資産売却差額	0	229	△ 229
	事業収入	8,500	10,712	△ 2,212
	雑収入	91,920	94,875	△ 2,955
	帰属収入合計	1,366,983	1,394,518	△ 27,535
	基本金組入額合計	△ 59,065	0	△ 59,065
	消費収入の部合計	1,307,918	1,394,518	△ 86,600
	消費支出の部			
	科目	予算	決算	差異
	人件費	761,264	795,858	△ 34,594
	教育研究経費	448,354	436,638	11,716
	管理経費	112,256	103,725	8,531
	借入金等利息	2,859	2,859	0
	資産処分差額	750	24,574	△ 23,824
	徴収不能額	0	3,658	△ 3,658
	〔予備費〕	6,000		6,000
	消費支出の部合計	1,331,483	1,367,312	△ 35,829
	当年度消費収入超過額	0	27,206	
	当年度消費支出超過額	23,565	0	
	前年度繰越消費支出超過額	514,588	514,588	
	基本金取崩額	0	168,919	
	翌年度繰越消費支出超過額	538,153	318,463	

### 3. 貸借対照表

24年度末の資産の部合計は95億5000万円となり、前年度末比7200万円増加した。負債の部合計は前受金の増加により10億2400万円となり、前年度末比4500万円増加した。

基本金の合計額は88億4400万円になり、前年度末比1億6900万円減となった。消費収支差額の部合計額は支出超過額が3億1800万円で、前年度末比1億9600万円減となった。

貸借対照表 (平成25年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,857,932	7,603,409	254,523
有形固定資産	5,612,226	5,419,909	192,317
土地	1,889,400	1,889,400	0
建物	2,963,950	3,098,371	△134,421
その他の有形固定資産	758,876	432,138	326,738
その他の固定資産	2,245,706	2,183,500	62,206
流動資産	1,691,671	1,874,352	△182,681
現金預金	1,596,247	1,833,479	△237,232
その他の流動資産	95,424	40,873	54,551
資産の部合計	9,549,603	9,477,761	71,842
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	438,128	449,062	△10,934
長期借入金	134,420	146,640	△12,220
その他の固定負債	303,708	302,422	1,286
流動負債	585,662	530,092	55,570
短期借入金	12,220	12,220	0
その他の流動負債	573,442	517,872	55,570
負債の部合計	1,023,790	979,155	44,635
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	8,489,464	8,221,292	268,172
第2号基本金	224,812	661,903	△437,091
第4号基本金	130,000	130,000	0
基本金の部合計	8,844,276	9,013,195	△168,919
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△318,463	△514,588	196,125
消費収支差額の部合計	△318,463	△514,588	196,125
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	9,549,603	9,477,762	71,841

### 4. 財産目録

資産は、基本財産が58億9800万円、運用財産32億7900万円、収益事業財産3億8000万円で資産総額は95億5700万円である。負債は、固定負債4億3800万円、流動負債5億8600万円、収益事業用負債700万円で負債の部合計は10億3000万円である。

資産総額から負債総額を引いた正味財産は85億2700万円であり、前年度末比2800万円増加した。

財産目録 24年度 (総括表) (平成25年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,557,179
内 基本財産	5,897,798
運用財産	3,279,396
収益事業財産	379,985
II 負債総額	1,030,471
III 正味財産	8,526,708
区分	金額
資産額	
1. 基本財産	5,897,798
有形固定資産	5,612,226
土地	1,889,400
建物	2,963,950
構築物	42,637
教研機器備品	203,519
その他の機器備品	12,699
図書	151,779
車両	5,942
建設仮勘定	342,299
その他の固定資産	285,572
借地権	59,900
電話加入権	860
施設設備拡充引当特定資産	224,812
2. 運用財産	3,279,396
現金預金	1,596,247
定期預金	0
有価証券	1,309,297
差入保証金	9,050
退職給与引当特定資産	24,587
減価償却引当特定資産	244,791
未収入金	92,400
販売用品	105
前払金	2,736
立替金	0
仮払金	184
3. 収益事業用財産	379,985
土地	185,313
建物	171,085
構築物	484
機器備品	1
現金預金	22,634
前払金	468
資産の部合計 (A)	9,557,179
負債額	
1. 固定負債	438,128
長期借入金	134,420
退職給与引当金	303,708
2. 流動負債	585,662
短期借入金	12,220
未払金	18,500
前受金	503,763
預り金	47,403
研修旅行費預り金	3,776
3. 収益事業負債	6,681
前受金	1,296
未払法人税	385
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	1,030,471
正味財産 (A) - (B)	8,526,708

## 5. 5カ年連続消費収支計算書 (24年度)

平成20年度から24年度までの過去5年間の連続消費収支計算書は右表の通りである。

以上

### 5カ年連続消費収支計算書 (24年度)

	平成20年度 (完成)		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		全国平均 医歯系を除く
	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	
<b>収入の部</b>											
学生納付金収入	997,526	79.8	988,583	83.4	1,003,922	78.0	1,018,198	79.1	1,048,125	75.2	72.7
手数料収入	16,229	1.3	17,243	1.5	22,927	1.8	22,480	1.7	31,033	2.2	2.4
寄付金収入	10,242	0.8	7,567	0.6	10,516	0.8	12,563	1.0	10,639	0.8	2.3
補助金収入	154,194	12.3	133,070	11.2	139,212	10.8	176,246	13.7	171,929	12.3	12.4
資産運用収入	21,288	1.7	17,136	1.4	16,953	1.3	18,030	1.4	26,977	1.9	2.0
資産売却差額	0	0.0	0	0.0	105	0.0	0	0.0	228	0.0	1.9
事業収入	15,984	1.3	14,428	1.2	8,459	0.7	7,384	0.6	10,712	0.8	3.4
雑収入	34,983	2.8	7,438	0.6	75,799	5.9	31,840	2.5	94,875	6.8	3.0
帰属収入	1,250,446	100.0	1,185,465	100.0	1,277,893	99.3	1,286,741	100.0	1,394,518	100.0	100.0
基本金組入額	△ 43,420	△ 3.5	0	0.0	△ 63,559	△ 4.9	△ 67,266	△ 5.2	0	0.0	△ 11.6
消費収入合計	1,207,026	96.5	1,185,465	100.0	1,214,334	95.0	1,219,475	94.8	1,394,518	100.0	88.4
<b>支出の部</b>											
人件費支出	704,202	56.3	678,503	57.2	748,767	58.2	690,358	53.7	795,858	57.1	54.0
教育研究経費支出	425,455	34.0	422,643	35.7	432,497	33.6	443,373	34.5	436,638	31.3	30.9
(うち減価償却額)	(191,706)	(15.3)	(190,414)	(16.1)	(190,782)	(14.8)	(195,224)	(15.3)	(186,976)	(13.4)	(9.8)
管理経費支出	128,830	10.3	112,258	9.5	117,274	9.1	106,059	8.2	103,725	7.4	8.7
(うち減価償却額)	(14,703)	(1.2)	(12,784)	(1.1)	(12,930)	(1.0)	(11,533)	(0.9)	(10,215)	(0.7)	(1.1)
借入金利息支出	3,739	0.3	3,519	0.3	3,299	0.3	3,080	0.2	2,859	0.2	0.4
資産処分差額	128,830	10.3	15,541	1.3	6,539	0.5	10,478	0.8	24,574	1.8	2.5
徴収不能額	1,320	0.1	534	0.0	3,612	0.3	2,795	0.2	3,658	0.3	0.1
(予備費)											
消費支出合計	1,266,485	101.3	1,232,998	104.0	1,311,988	102.0	1,256,143	97.6	1,367,312	98.0	96.6
当年度消費収支差額	△ 59,460		△ 47,533		△ 97,654		△ 36,668		27,206		
前年度繰越消費収支超過額	△ 470,310		△ 529,770		△ 380,266		△ 477,920		△ 514,588		
基本金取崩額			197,037						168,919		
翌年度繰越消費収支超過額	△ 529,770		△ 380,266		△ 477,920		△ 514,588		△ 318,463		
人件費依存率		70.6		68.6		74.6		67.8		75.9	74.4
人件費比率		56.3		57.2		58.6		53.7		57.1	54.0
帰属収支差額比率		△ 1.3		△ 4.0		△ 2.7		2.4		2.0	3.4
消費収支比率		104.9		104.0		108.0		103.0		98.0	109.2

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人(医歯系を除く)23年度

## 教育研究施設設備充実資金の募金について

本学は約50年に亘って、「食と栄養」に関する教育研究活動を展開し、栄養、健康など食生活の分野において社会的貢献をしてきましたが、社会の変遷は急を告げ、少子高齢化社会を迎え、いまや介護、医療、食育、食品衛生、食の安全性などに対応する資質の高い人材が求められています。

本学におきましては、こうした社会的要望に応え大学としての社会的責任を果たすためには、教育研究の更なる高度化推進を図る必要があり、教育研究環境整備充実が急務となっています。しかし、少子化などの影響で学生定員割れなどにより私学財政は厳しさが増してきています。施設設備充実に充当する資金には、学生納付金、国庫補助金などには限度があるので、資金の相当部分は在学生保護者、教職員、卒業生、民間企業など学園関係者からの寄附金に依存せざるをえないのが実情です。

新政権が誕生し新経済金融政策を打出し経済不況から脱却が試みられていますが、未だ先行き不透明で、諸事ご多端のところ誠に恐縮に存じますが、事情ご賢察の上、何卒寄附金にご協力下さいますようお願い申し上げます。

なお、寄附金には、所得税法上の所得控除が適用されていますが、平成23年度所得税法の改正により、寄附金控除に減免額の大きい税額控除が導入され、一定の要件を満たした学校法人を税額控除対象法人として、文部科学省が認定することになりました。一定の要件とは「過去5年間で3000円以上の寄附を行った寄付者の数が年平均100件以上」となっていますので、できるだけ多数の人が寄付者となって、早期にこの要件を満たし認定法人となり、恒常的に有利な寄附金活動を行って実績を高め、維持継続できる体質を構築したいと考えます。

### 募金要項

1. 目的：教育研究施設設備拡充資金に充当するため。
2. 募金目標額：2千5百万円
3. 寄付金額：1口 5千円 (2口以上をお願いします)
4. 募集期間：平成26年3月25日(火)まで
5. 申込書、振込方法：本学園所定の用紙をご利用ください。

◎この寄付金は任意ではありますが、何卒ご協力くださるようお願いいたします。

◎この募金は、税法上所得税の寄附金所得控除の対象となります。

(詳細については同封の「税制上の優遇措置(寄付金控除)」をご覧ください。または財務課募金係までお問い合わせください。)

お問い合わせ、ご連絡は下記にお願いします。

学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係 TEL 03-3692-0211(代)

### 募金受入状況

平成17年度以降24年度までの募金受入状況は下表のとおりです。

この募金は、別口座にて積み立てられ募金の趣旨に則り教育研究施設設備充実のために有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額(円)
平成17年度	33	3,150,000
18年度	41	3,750,000
19年度	32	2,700,000
20年度	27	2,500,000
21年度	17	1,600,000
22年度	54	6,465,000
23年度	50	6,790,000
24年度	110	7,910,000
総計	364	34,865,000

## 東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園だより

わたなべ幼稚園の今年のテーマは近隣の小学生のお兄さん、お姉さん、お年寄りとの交流など地域との密接な関わりを通して、園児たちにも社会との繋がりを感じとっていただくことです。

その一環として年長組では特別養護老人ホーム「初富の里」へふれあい訪問に行ってきました。初めての訪問で最初のうちはどんな関わりをしたら良いのか戸惑っていましたが、歌や手遊びでその場がなごみ、笑顔でお年寄りと接する姿が見られました。それを見たお年寄りも心を開いていただけただけでなく、昔の遊びのお話や手遊びのことなどを教えていただき楽しいひと時を過ごしてきました。

園児たちに養わせたいコミュニケーション能力とは自分の要求や主義主張をきちんと伝えることだけでなく、周りの方との会話もできるように

なることです。幼稚園では、この取り組みの一つに「挨拶」の大切さを教えています。園児たちはとってとても素直な気持ちでどんどん挨拶を実行しています。幼稚園には、見学に来られる方、園児がお世話になる方など様々な方が訪れます。その時の園児の元気な挨拶には「とってとても明るい幼稚園ですね」とお褒めの言葉をいただいています。



## 東京聖栄大学附属調理師専門学校だより

### ○就職相談会

7月31日(水)に就職相談会が実施されました。経営コンサルタントでもある鶴田慎一先生を講師に招き「飲食店を取り巻く環境」と「就職に対する心構え」についての講話を聞いた後、移動ブース形式による卒業生との個別相談会を実施しました。卒業生にも多数参加していただき、在校生も皆、真剣に卒業生の話を聞き、今後の

就職活動の参考にしていました。また、平成23年度より受け入れを開始した、東京聖栄大学との連携に伴う「調理技術研修学生」も3年次にも関わらず積極的に参加し、将来の就職先の1つとして考える調理分野についての理解を深めていました。さらに就職相談会終了後は、卒業生と教職員による懇親会を実施し、情報交換を行いました。なお、今回参加いただいた卒業生の就職先は下記の通りです。

### ■2013年度 就職相談会参加企業

(順不同)

オリエンタルホテル/東京ガーデンパレス/聘珍楼/オザミ デ ヴァン/コンラッド東京/日本給食/伊豆菜/東京エアポートレストラン/船橋中央病院/天津飯店/青戸福祉保育園



## 平成26年度 東京聖栄大学 学生募集要項

東京聖栄大学 健康栄養学部 (共学) / 管理栄養学科・食品学科 (募集定員は両学科とも80名)

入試区分	選抜方法	試験日
指定校制推薦入試	面接・調査書	11月3日(日)
公募制推薦入試Ⅰ期	適性テスト・面接・調査書	
公募制特別推薦入試	適性テスト・面接・志望理由書・調査書	
卒業生子女等推薦入試	適性テスト・面接・志望理由書・調査書	12月8日(日)
公募制推薦入試Ⅱ期	基礎学力検査・面接・調査書	

入試区分	選抜方法	試験日
一般入試Ⅰ期	学力試験・調査書	1月28日(火)
一般入試Ⅱ期		2月2日(日)
一般入試Ⅲ期		2月23日(日)
センター利用入試Ⅰ期	平成26年度大学入試センター試験成績・調査書 *Ⅱ期・Ⅲ期は面接あり	-
センター利用入試Ⅱ期		2月20日(木)
センター利用入試Ⅲ期		3月8日(土)
社会人特別入試		筆記(化学)・小論文・面接・調査書・経歴書

※公募制特別推薦入試は、専門高校・総合学科卒業生選抜入試です。  
※各入試の詳細は本学ホームページ又は「平成26年度学生募集要項」で確認してください。

### 受験相談会 10/26(土) 11/30(土)

■開催時間：各回とも13:00～16:00要予約  
■当日の内容：平成26年度入試の概要説明、個別相談、施設見学 他

※11月9日(土)、10日(日)は聖栄葛飾祭(大学祭)にて受験相談コーナーを開設します。

＜お問い合わせ先＞ 入試・広報課 TEL：03-3692-0238(直通) E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

## 大学トピックス

### (社)日本食育学会第1回総会・第7回学術大会開催

5月18日(土)、19日(日)に本学に於いて、日本食育学会学術大会が開催された。全国の学会員に加えて葛飾一般区民も含め延べ約400余名の参加を得た。一般口頭発表30題、ポスター発表53題、計83題と過去にない発表数で食育の学術と実践活動の両面から活発な討議と意見交換がなされた。葛飾区、(社)日本栄養士会、(社)全国栄養士養成施設協会、(社)栄養改善学会ならびに(社)日本フードスペシャリスト協会の後援や企業協賛も得た。基調講演はお茶の水女子大学名誉教授本間清一氏、また特別講演は「癌研究」大家順天堂大学医学部教授樋野興夫氏を招き内容の深い講演会となった。さらにかつしかフォーラム2013「葛飾区の地域食文化と食育の実践」と題し、葛飾区郷土と天文の博物館学芸員谷口榮氏、葛飾区保健所健康推進課栄養推進担当係長藤野秀市氏、本学准教授新村真由美氏の3名によるプレゼンテーション、食育学会長中村靖彦氏がコメンテーターとして活躍し、注目を集めるフォーラムとなった。また葛飾区および本学食育展示ブースや葛飾区物産店などにも多数の学会員や区民が訪れ、盛況のうちに幕を閉じた。



## Student's view

### 新小岩駅北口「楽しい音楽会と夏の夜店祭り」への参加

4FA 臼井 俊祐

8月17日(土)・18日(日)にJR新小岩駅北口広場に於いて開催された「新小岩第6自治会主催 楽しい音楽会と夏の夜店祭り」に参加し、「小松菜入り焼きそば」の販売を行った。本学からは毎年参加協力をしているが、今年は下級生からの参加も多く、また多数の来場者があった。

当日の運営では、軌道に乗るまでは戸惑いながらも、時間が経つにつれてスムーズに対応する事ができ、学生間の結束も強まった。

また、毎年購入してくれている方やお褒めの言葉をかけて下さる方と接することができ、楽しみながら参加する事ができた。

来年以降は、今年の売り上げ等を参考に、スムーズに実施できるようにし、より地域の方との交流を深められるようにしたい。

